

2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

上場会社名 株式会社アイ・オー・データ機器 上場取引所 東
 コード番号 6916 URL http://www.iodata.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 尚則
 問合せ先責任者 (役職名)社長室 室長 (氏名)真田 秀樹 (TEL)076(260)3377
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	29,212	△3.4	964	△26.7	1,289	△2.1	768	△9.4
2019年6月期第2四半期	30,227	10.8	1,315	17.7	1,317	16.0	848	12.5

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 1,078百万円(43.5%) 2019年6月期第2四半期 751百万円(△19.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年6月期第2四半期	58.07	—	—	—
2019年6月期第2四半期	62.25	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2020年6月期第2四半期	42,267		27,224		64.0	
2019年6月期	40,333		26,554		65.4	

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 27,057百万円 2019年6月期 26,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00	—
2020年6月期	—	0.00	—	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	58,000	△2.1	2,100	△5.8	2,400	10.5	1,600	△23.3	120.92	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年6月期2Q	14,839,349株	2019年6月期	14,839,349株
2020年6月期2Q	1,607,511株	2019年6月期	1,607,379株
2020年6月期2Q	13,231,861株	2019年6月期2Q	13,631,162株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、決算説明資料は2020年2月21日(金)付で当社ホームページ(<http://www.iodata.jp/company/ir/index.htm>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(連結の範囲の重要な変更)	9
(会計方針の変更)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、貿易摩擦や地政学リスクの高まりによる海外経済の減速、相次ぐ自然災害の影響等から、先行きの不透明感が高まりました。

当社グループに関係するPCや家電、スマートデバイス等のデジタル機器の国内市場では、働き方改革の推進やPCの更新需要等から上向く企業のIT投資が牽引しました。

こうした中、当社グループは、商品・サービスの拡充により伸張する法人需要の獲得に努めるとともに、eスポーツ等の新たな成長機会の獲得に励みました。その結果、メモリ部門と液晶部門は増収となりましたが、前年同期に比べ市場シェアが低下したハードディスクの減収と他社商品の伸び悩みが響き、当第2四半期連結累計期間の売上高は292億12百万円（前年同期比3.4%減）となりました。利益面につきましては、研究開発費と減価償却費を中心に販売費及び一般管理費が増加した影響から、営業利益は9億64百万円（前年同期比26.7%減）となりました。以下、営業外収益を為替差益2億87百万円を計上したことにより、経常利益は12億89百万円（前年同期比2.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億68百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業の概況を品目別に説明いたします。

なお、当第2四半期連結累計期間は、前第2四半期連結累計期間ではストレージに含めておりましたSSD(ソリッドステートドライブ)をメモリへ組み替えて表示しております。そのため、前年同期比較は、前年同期の数値を変更後の区分方法により組み替えて比較しております。

[メモリ]

当部門の売上高は19億92百万円（前年同期比67.1%増）となりました。

ゲーム機への増設需要の高まり、主要部材の値下がりにより値頃感が生じたこと等を背景に、前期末にラインナップを始めたポータブルSSDが増収を牽引しました。

[ストレージ]

当部門の売上高は53億52百万円（前年同期比25.9%減）となりました。

前年同期との比較において、ハードディスクは前期下期に生じたシェアの低下が響き減収となりました。一方、光ディスクドライブは、ポータブルブルーレイドライブ、「CDレコ」シリーズ（音楽CDを直接スマートデバイスに取り込み・楽しむことをコンセプトにした独自商品）ともに堅調に推移しました。

[液晶]

当部門の売上高は91億15百万円（前年同期比15.9%増）となりました。

IT投資の増加を追い風に、オフィスや学校向けに汎用モデルや大型モニターの販売が好調に推移した他、大会への機材協力等の販促やラインナップ充実によりeスポーツモデルの販売も伸びました。

[周辺機器]

当部門の売上高は37億18百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

前年同期との比較において、地デジ・新4K衛星放送チューナーやビデオキャプチャー等の映像分野、無線LANやNAS等のネットワーク分野ともに伸び悩みました。

[特注製品]

上述の品目のカスタマイズやOEM販売を主とする当部門の売上高は5億25百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

[商品およびその他]

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売を主とする当部門では、主にVerbatim®(バーベイタム)ブランド商品やサムスン電子製フラッシュメモリが伸び悩み、売上高は85億8百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産及びキャッシュ・フローの状況に関する分析)

① 資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて19億34百万円増加し、422億67百万円となりました。これは、現金及び預金が12億47百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が18億76百万円、たな卸資産が8億33百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて12億64百万円増加し、150億42百万円となりました。これは、短期決済資金としての短期借入金が5億円減少したものの、支払手形及び買掛金が17億96百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて6億69百万円増加し、272億24百万円となりました。これは、剰余金の配当により利益剰余金が3億96百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益7億68百万円の計上、その他有価証券評価差額金が1億14百万円、繰延ヘッジ損益が1億17百万円増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて12億47百万円減少し、62億55百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は3億70百万円(前年同期は19億84百万円の使用)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益13億円の計上、仕入債務の増加17億75百万円による資金増加と、売上債権の増加17億97百万円、たな卸資産の増加8億29百万円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億72百万円(前年同期は9億16百万円の使用)となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出5億56百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は10億95百万円(前年同期は5億7百万円の使用)となりました。これは、短期及び長期借入金の返済による支出6億87百万円、配当金の支払による支出3億96百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績進捗を勘案し、2019年8月8日付「2019年6月期決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2020年6月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,502	6,255
受取手形及び売掛金	11,236	13,113
商品及び製品	8,690	9,475
原材料及び貯蔵品	2,055	2,103
その他	651	808
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	30,134	31,754
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,880	3,170
建設仮勘定	364	364
その他(純額)	2,858	2,939
有形固定資産合計	6,103	6,473
無形固定資産		
1,254	1,254	1,168
投資その他の資産		
その他	2,857	2,886
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	2,841	2,870
固定資産合計	10,198	10,512
資産合計	40,333	42,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,871	8,668
短期借入金	1,000	500
1年内返済予定の長期借入金	375	375
未払法人税等	479	500
ポイント引当金	3	4
賞与引当金	—	148
その他	3,510	3,474
流動負債合計	12,240	13,670
固定負債		
長期借入金	1,031	843
役員退職慰労引当金	83	83
リサイクル費用引当金	308	325
製品保証引当金	40	30
その他	73	88
固定負債合計	1,538	1,372
負債合計	13,778	15,042

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,588	3,588
資本剰余金	4,600	4,600
利益剰余金	19,180	19,551
自己株式	△1,190	△1,190
株主資本合計	26,178	26,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	127	241
繰延ヘッジ損益	76	194
為替換算調整勘定	13	71
その他の包括利益累計額合計	217	507
非支配株主持分	158	167
純資産合計	26,554	27,224
負債純資産合計	40,333	42,267

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	30,227	29,212
売上原価	24,614	23,628
売上総利益	5,613	5,584
販売費及び一般管理費	4,297	4,620
営業利益	1,315	964
営業外収益		
受取利息	8	7
仕入割引	29	21
為替差益	—	287
持分法による投資利益	11	14
その他	49	66
営業外収益合計	98	397
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	24	—
売上割引	67	58
その他	3	12
営業外費用合計	96	71
経常利益	1,317	1,289
特別利益		
投資有価証券売却益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
投資有価証券評価損	44	—
特別損失合計	44	—
税金等調整前四半期純利益	1,272	1,300
法人税、住民税及び事業税	637	459
法人税等調整額	△229	52
法人税等合計	408	511
四半期純利益	864	788
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	20
親会社株主に帰属する四半期純利益	848	768

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	864	788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	114
繰延ヘッジ損益	△13	117
為替換算調整勘定	1	53
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
その他の包括利益合計	△112	289
四半期包括利益	751	1,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	735	1,058
非支配株主に係る四半期包括利益	16	20

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,272	1,300
減価償却費	272	340
受取利息及び受取配当金	△14	△13
支払利息	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	△2,897	△1,797
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,129	△829
仕入債務の増減額(△は減少)	2,213	1,775
その他	△180	7
小計	△1,462	784
利息及び配当金の受取額	26	26
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△548	△439
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,984	370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△909	△556
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
その他	△4	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△916	△572
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△500
長期借入金の返済による支出	—	△187
配当金の支払額	△407	△396
自己株式の取得による支出	△25	△0
その他	△74	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△507	△1,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,402	△1,247
現金及び現金同等物の期首残高	9,114	7,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,712	6,255

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、新たに設立したI-O DATA VIETNAM CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が47百万円増加し、流動負債の「その他」が27百万円及び固定負債の「その他」が20百万円増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。